



横浜市立倉田小学校  
幼保小連携推進地区事業推進校

令和3年 6月30日

# 学校だより

# 7月号

“つながり いきいき 倉田っ子”

学校ホームページ URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/school/es/kurata>



## あいさつ

副校長 佐藤 直子

例年より遅い梅雨入りとなり、雨や曇りの天気が続いています。そんな中、倉田小学校の正門に向かう道路沿いの「タイサンボク」の木に大きな白い花が咲き始めました。近くを通ると甘い香りが漂っています。また、南門近くの池には紫色の花がみごとに咲いています。この花の名前は何かしらと思ひ調べてみると、「ポンテデリア ミズアータ」という何ともかわいらしい名前。和名は「長葉水葵（ながばみずあおい）」と言うそうです。その足元にはスイレンの白い花がひっそりとさいています。日々変化する校庭の花の様子を見るのが楽しみになっています。

さて、朝、正門や南門で登校してくる子どもたちに「おはようございます」と声をかけると、いろいろな反応が返ってきます。「おはようございます！」と元気にあいさつを返す子、声は小さいけれど確かにあいさつを返す子、目が合つてにっこりと微笑む子、照れくさそうにしながらおじぎをして通り過ぎる子。（今は感染症対策のためにマスクをしているので、あいさつをしてもなかなか聞こえづらいこともあると思います）。いろいろな反応がありますが、どの子もその子なりに私のあいさつに答えてくれていると思うと嬉しくなります。

「挨拶」とは、「心を開き、その心に近づく」という意味を持っているそうです。だから、あいさつをすることは「あなたの存在を認めていますよ、気づいていますよ。」というメッセージも相手に送っているということです。そして相手からあいさつを返されると、相手からもまた「気づいていますよ。よろしくね。」というメッセージを受け取ることになります。あいさつをすると気持ちが良くなったり嬉しくなったりするのは「相手が自分に対して心を開いてくれた」とか、「大切にされている」と感じるからなのかもしれません。

あいさつの持つ意味を意識しながら、倉田小学校の子どもたちがお互いに「あなたに気づいていますよ、よろしく。」という思いを込めてあいさつを交わすことができると素敵だなと思います。さらに、「相手の目を見て」「伝わる声で」あいさつをすると、より相手にその思いが伝わり、よりよいコミュニケーションを育むことができると思います。

まん延防止等重点措置が再延長されました。それに伴い、予定していた活動も内容等を変更せざるを得なくなっておりますが、これからも感染症への対策と熱中症への対策も併せて行っていきます。保護者、地域の皆様には引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。